

「島スクエア」3年目の方針と実施状況

岡野内悟*, 石原良晃**, 岡村健史郎**, 幸田三広***, 吉留文男**, 北風裕教****, 岡宅泰邦**

A Policy and the Enforcement Situation of the Third Year of Shima-square Project

Satoru OKANOUCI, Yoshiaki ISHIHARA, Kenshiro OKAMURA, Mitsuhiro KOTA,
Fumio YOSHIDOME, Hironori KITAKAZE and Yasukuni OKATAKU

Abstract

Oshima National College of Maritime Technology is promoting the project to reactivate Suo-Oshima town using fund of Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology. This is a 5-year project to strategically cope with the anticipated future-profit. In this paper we report a policy and the enforcement situation of the third year of Shima-square Project on the basis of reflection for the 2-year activity in the past.

Key words: local reactivation, reactivation of Suo-Oshima town, entrepreneur training, Ministry of Education

1. はじめに

「島スクエア」とは、平成 20 年度文部科学省 科学技術振興調整費地域再生人材創出拠点の形成に対し、「山海空コラボレーションみかん島再生クルー」と題して大島商船高等専門学校（以下、本校）から申請して採択された地域再生人材育成のプロジェクトにつけられた愛称である^{(1),(2)}。このプロジェクトは、高齢化や人口流出が進みつつある地元の周防大島町を中心とした地域で、たとえ小規模であっても起業家を養成することで自立する意識や活力を高め、生活の質の向上、産業の活性化、交流人口の増加や定住促進を図り、地域再生につなげるという試みである。この成果は、全国の地方が共通して抱える問題に対する一つの解決策につながるものとして期待されている。

プロジェクトの運営組織は、周防大島町や山口県、本校と周辺の学校、地元を中心とした起業家や商工会、NPO 法人などの団体からなる産学官の連携組織で、経験の浅いスタッフは戸惑いながらも何とか協力して進めている。プロジェクトの内容は、起業家を養成する4つの講座「起業家養成基礎コース（通称：島コース）」、「商品開発起業コース（通称：山コース）」、「体験型観光起業コース（通称：海コース）」、「Web・動画クリエイタ養成コース（通称：空コース）」を開設して人材を養成し、地元での起業・自立に結びつけようというものである⁽³⁾。このプロジェクトの予算は最大5年間で、その間に何らかの体制づくりを行い、その

後も継続することが求められている。

1年目の平成 20 年度は全体の組織づくりを行い、手始めに「起業家養成基礎コース」のみを開講し、18名の修了者を出した⁽⁴⁾。2年目の平成 21 年度からは4つのコース全てを開講し、延べ 47 人の修了者を出し、講座実施の組織がある程度で上がった。また、喜ばしいことに修了者の何組かが実際に起業され、成果が出始めている。

本論文では、過去2年間の取り組みの問題点と今後取り組むべき課題を踏まえ、3年目となる平成 22 年度の方針について示し、その実施状況について報告する。

2. 今年度の方針

3年目となる今年度は中間評価の年であり、プロジェクトの提案内容と現状を見比べ、将来への方針を立てる良い機会である。これまで過去2年間の取り組みの問題点と今後取り組むべき課題を要約すると、次のとおりである。

- ・地域との連携が充分でない。
- ・講義の開始時期など4講座でばらばらである。
- ・講義スタッフの役割分担など、明確でない。
- ・教科書の作成やカリキュラムを検討する。
- ・戦略委員の位置づけが明確でない。
- ・起業支援の体制づくりが必要である。
- ・近隣地域からの受講生募集だけでなく、遠方からの UJI ターン希望者への取り組みを行う。
- ・地域資源に関する情報を整理し、起業や講義資

料、UJI ターン希望者など幅広く生かせるよう情報の構築が求められる。

- ・地元高校や小中学校など廃校の利用を行う。
- ・5年終了以降の体制づくりを行う。

これら問題点と課題を踏まえ、平成22年度に実施可能な範囲で、次のように方針を定めた。

- ①山口県、周防大島町、諸団体との情報交換、連携を密にする。
- ②講義の実施・評価体制を充実する。
 - ・講義実施体制の統一と作業分担を明確にする。
 - ・戦略委員の方々に講義への参加をお願いする。
- ③起業支援の体制づくりを行う。
 - ・受講生、修了生へ起業に役立つ情報提供する。
 - ・起業に役立つ知識や能力を補う講義を行う。
 - ・起業相談会の実施方法を見直す。
- ④UJI ターン希望者を呼び込む試みを行う。
 - ・大阪と東京でUJI ターンの呼びかけをする。
 - ・UJI ターン希望者へ起業のための講座を行う。
- ⑤その他
 - ・島スクエアジュニアを試行する。
 - ・地域資源マップ作りを進める。
 - ・廃校利用のための提案、調整を継続して行う。

以上の方針で実施して、半年が経過した。その実施状況について述べる。

3. 実施状況

3.1 地域連携の強化

平成22年3月、各コースの講義の実施計画作成に際し、周防大島町の商工観光課、商工会など、町の関連団体を訪問して意見を伺い、講義の方針を決めた。また、町と連携して小中学生への起業、自立に向けた教育を行うため、教育委員会や各小中学校を回り、島スクエアジュニア試行の調整を行った。また、4月に山口県庁を訪問し、起業支援や経営支援を行う部署、商品開発・体験型観光に関連した農業、漁業関係の部署、UJI ターンを担当する部署、県の発明協会などを回り、「島スクエア」の活動について説明し、関連情報の提供をお願いした。その結果、県で実施するUJI ターン合同説明会への参加、県の女性起業家支援塾からの起業家紹介、発明協会から島スクエアジュニアへの講師派遣などの成果を得た。

3.2 講義の実施・評価体制の充実

今年度、前期に実施した全講座、後期に実施予定の全講座を表1、表2に示す。5月中旬から順次開講し、前期で46回の講座を実施した。複数の講座が重ならないよう講座ごとに曜日を決めて行

表1 前期実施した全講座

平成22年度「島スクエア」講義 <前期>					
NO	実施日	コース・講義	講義時間	場所	ｽﾀｯﾌの講師等
1	5月19日(水)	空コース1	19:00-21:00	数理計画	上空
2	5月23日(水)	空コース2	19:00-21:00	数理計画	上空
3	6月3日(木)	山コース1	19:00-21:30	小会議室	-
4	6月8日(火)	鳥コース1	19:00-21:30	大会議室	-
5	6月9日(水)	空コース3	19:00-21:00	数理計画	-
6	6月10日(木)	山コース2	19:00-21:30	小会議室	-
7	6月16日(水)	空コース4	19:00-21:00	数理計画	-
8	6月17日(木)	山コース3	19:00-21:30	小会議室	(簿科)高橋
9	6月22日(火)	鳥コース2	19:00-21:30	大会議室	-
10	6月23日(水)	空コース5	19:00-21:00	数理計画	-
11	6月24日(木)	山コース4	19:00-21:30	大会議室	-
12	6月26日(土)	海コース1	13:30-16:30	大会議室	兼父、坂元、佐藤
13	6月29日(火)	鳥コース3	19:00-21:30	大会議室	-
14	6月30日(水)	空コース6	19:00-21:00	数理計画	-
15	7月6日(火)	鳥コース4	19:00-21:30	大会議室	戦略委員、中本、松嶋
16	7月7日(水)	空コース7	19:00-21:00	数理計画	-
17	7月8日(木)	山コース5	19:00-21:30	小会議室	近藤、穴見
18	7月26日(土)	海コース2	13:30-16:30	大会議室	坂元
19	7月13日(火)	鳥コース5	19:00-21:30	大会議室	-
20	7月14日(水)	空コース8	19:00-21:00	数理計画	-
21	7月21日(水)	空コース9	19:00-21:00	数理計画	-
22	7月22日(木)	山コース6	19:00-21:30	小会議室	近藤
23	7月24日(土)	海コース3	08:30-17:00	大会議室	坂元
24	7月27日(火)	鳥コース6	19:00-21:30	大会議室	戦略委員、山崎、米澤
25	7月29日(木)	山コース7	19:00-21:30	数理計画	穴見
26	7月31日(土)	海コース4	13:30-16:30	専攻科講義室	-
27	8月3日(火)	鳥コース7	19:00-21:30	視聴覚室	-
28	8月4日(水)	空コース10	19:00-21:00	数理計画	-
29	8月5日(木)	山コース8	19:00-21:30	数理計画	近藤、穴見、永松
30	8月7日(土)	海コース5	13:30-16:30	専攻科講義室	坂元、北島、中村
31	8月10日(火)	空コース11	19:00-21:00	数理計画	-
32	8月12日(木)	山コース9	19:00-21:30	しまとびあ	近藤、穴見、永松
33	8月14日(土)	UJIお盆セミナー	13:00-16:00	大島文化センター	-
34	8月21日(土)	海コース6	13:30-16:30	専攻科講義室	坂元、北島
35	8月31日(火)	鳥コース8	19:00-21:30	視聴覚室	戦略委員、向井、伊藤
36	9月2日(木)	山コース10	19:00-21:30	しまとびあ	近藤、穴見
37	9月4日(土)	海コース7	08:30-17:30	大会議室	坂元、北島、中村
38	9月7日(火)	鳥コース9	19:00-21:30	視聴覚室	-
39	9月9日(木)	山コース11	19:00-21:30	数理計画	中野、近藤
40	9月11日(土)	海コース8	13:30-16:30	大島文化センター	坂元
41	9月16日(水)	山コース12	19:00-21:30	数理計画	近藤
42	9月18日(土)	海コース9	13:30-16:30	専攻科講義室	坂元、北島
43	9月19日(日)	海コース10	09:00-12:30	専攻科講義室	坂元、北島
44	9月21日(火)	鳥コース10	19:00-21:30	ものづくり3階	-
45	9月25日(土)	海コース11	12:00-17:30	数理計画	戦略委員、坂元、北島
46	9月30日(木)	山コース12	18:00-20:30	職員会館	戦略委員、近藤、穴見

表2 後期実施予定の全講座

平成22年度「島スクエア」講義 <後期>					
NO	実施日	コース・講義	講義時間	場所	ｽﾀｯﾌの講師等
1	9月25日(土)	UJIターン起業セミナー	15:00-17:30	ｼﾞｬﾝﾌﾞ 大阪	-
2	9月26日(土)	UJIターン起業セミナー	10:00-12:30	ｼﾞｬﾝﾌﾞ 大阪	-
3	10月2日(土)	特別講義CONE1	13:00-19:00	専攻科講義室	山口、北島
4	10月3日(日)	特別講義CONE2	09:00-16:00	専攻科講義室	山口、北島
5	10月5日(火)	鳥コース11	19:00-21:30	ものづくり3階	-
6	10月6日(水)	空コース12	19:00-21:00	数理計画	-
7	10月9日(土)	特別講義CONE3	13:00-18:00	専攻科講義室	山口、北島
8	10月10日(日)	特別講義CONE4	09:00-16:00	専攻科講義室	山口、北島
9	10月9日(土)	UJIターン起業セミナー	15:00-17:30	東京 島嶼会館	-
10	10月10日(日)	UJIターン起業セミナー	10:00-12:30	東京 島嶼会館	-
11	10月12日(火)	鳥コース12	19:00-21:30	視聴覚室	戦略委員
12	10月13日(水)	空コース13	19:00-21:00	情報センタ	野村
13	10月17日(日)	鳥コース12追加	13:30-16:00	視聴覚室	戦略委員
14	10月20日(水)	空コース14/特Web1	19:00-21:00	情報センタ	-
15	10月27日(水)	空コース15	19:00-21:00	数理計画	-
16	10月27日(水)	特別講義Web2	19:00-21:00	情報センタ	-
17	11月6日(土)	鳥会宿1回目	12:00-18:30		戦略委員
18	11月7日(日)	鳥会宿1回目	09:00-16:30		戦略委員
19	11月10日(水)	空コース16	19:00-21:00	数理計画	-
20	11月10日(水)	特別講義Web3	19:00-21:00	情報センタ	-
21	11月17日(水)	空コース17	19:00-21:00	数理計画	-
22	11月17日(水)	特別講義Web4	19:00-21:00	情報センタ	-
23	11月24日(水)	空コース18	19:00-21:00	数理計画	-
24	11月24日(水)	特別講義Web5	19:00-21:00	数理計画	-
25	11月27日(土)	特別 財務・会計	10:00-17:00	数理計画	バルウエーブ
26	12月4日(土)	鳥会宿2回目	12:00-18:30		戦略委員
27	12月5日(日)	鳥会宿2回目	09:00-16:30		戦略委員
28	12月1日(水)	空コース19	19:00-21:00	数理計画	-
29	12月1日(水)	特別講義Web6	19:00-21:00	数理計画	-
30	12月15日(水)	空コース20	19:00-21:00	数理計画	-
31	12月22日(水)	空コース21	19:00-21:00	数理計画	-
32	12月?日(?)	特別講義CAD/CAM	09:30-12:30	機械工作	-
33	1月12日(水)	空コース22	19:00-21:00	数理計画	-
34	1月19日(水)	空コース23	19:00-21:00	数理計画	-
35	1月26日(水)	空コース24	19:00-21:00	数理計画	-
36	2月2日(水)	空コース25	19:00-21:00	数理計画	-

い、複数の講座が受講できるようにしている。実際、複数の講座を同時に受講されている受講生が何人もおられる。講座により内容が異なるため修了までの実施回数はバラバラであるが、出席率など修了要件は統一している。

各講座はそれぞれ、コースリーダーを中心に実施する。まず、講座の方針、実施日程、カリキュラム作成、講師の候補など実施計画を立てる。次に、受講生の募集案内や説明会の実施、受講生との面談を行い、受講生を決める。講義に際しては打ち合わせ会議の実施、配布物の印刷やコピー、使用教室や機材の準備、受付、進行、記録を行う。毎回の講義はビデオ撮影してDVDを作成し、欠席した受講生への貸し出しも行う。講義終了後は、出席状況の確認、アンケートの集計、実施内容をホームページにアップするなど、数多くの作業がある。今回、これらを効率よく行うため、各コースで共通した事務作業は専門の職員にお願いした。また、ビデオ撮影やDVD作成をアルバイトに任せるなど作業分担を行い、講義スタッフの作業負担を減らした。また、コースリーダーに任せるだけでなく全講座の実施状況を把握し、講義に関する問題に柔軟に対応するため、講義全体の責任者を配置した。結果として、多少の連絡の行き違いや教員の負担増など問題はあるものの、講義は順調に進んでいる。

一方、講義の内容や進め方、受講生の状況など外部からの客観的な評価、アドバイスを得るため、戦略委員に講義への参加をお願いしている。戦略委員は、地元の起業家や商工会、NPOなどの団体で活躍されている候補者を選び、お願いする形で決める。また、特に起業相談会や修了発表のときには、できるだけ来ていただくよう案内している。

3.3 起業支援の体制づくり

平成22年現在で50名以上の修了者を出しているが、条件や環境が整わず起業できない方、いずれはということまで待っておられる方など、起業に踏み切れない方がほとんどである。実際に起業するかどうかは個人の問題ではあるが、当初の志を実現できるよう、修了生とつながりを持つことが大切である。まずは、定期的に情報交換を行ったり、様々な知識や経験を持つ人と相談したりできる場を提供することが第一である。これまでは、相談があった方を個別に訪問し、個々に対応していた。しかしながら、修了者が年々増えることを考えると、組織的な体制づくりが求められる。そこで、7月からコースや年代を超え、受講生、修了生、戦略委員、スタッフからの情報を共有する目的で、ニュースレターの配信を始めた。

ニュースレターは、労力、コスト、スピードの面から、パソコンのメールによる配信を原則とし、メールの使えない希望者にはファックスで、ファックスも使えない者には重要ものだけを郵送するという形で始めた。ニュースレターは現在、3ヶ月で7号まで出されており、「島スクエア」関係者への情報共有の役割を果たし、起業支援にもつながると期待している。ニュースレターの内容は、起業相談会や特別講義など、スタッフからの連絡や戦略委員からの情報提供、修了生からの起業情報、イベント情報などである。記事は情報を提供したい希望者が原稿作成し、情報配信の担当者へメールで依頼する。担当者が原稿をチェックして問題なければ、メーリングリストで配信する。

また、試みとして通常の講座の中では大きく取り上げなかったが、ある分野の起業に役立つ内容を特別講義として取り上げ、短期間で実施することにした。人数制限などはあるが、受講したコースに関係なく受講生、修了生が受けることができる。今年度は、表2の後期実施予定の講義にみられるように、自然体験プログラムでの指導者の資格CONEリーダー資格の取得、ネット販売やホームページ作成について勉強するWeb基礎、起業したときには不可欠な財務・会計に関する集中講義などを企画している。たとえ少数でも、今後の起業に役立てば、良いと考えている。

さらに、受講生、修了生と戦略委員が公に相談できる場として、起業相談会を行う。今年度は既に、起業家養成基礎コースの中で時間を設け、3回の相談会を行った。1回目と2回は1人の戦略委員に対し複数の相談者がグループで話をする方法で、3回目は相談したい戦略委員と1対1で相談する方法で行った。図1の写真は、1回目の起業相談会の様子である。



図1 起業相談会

この方法の善し悪しは意見の分かれるところではあるが、まずは支援体制の仕組みを作り、今後、

関係者の要望を取り入れながら改善していきたいと考えている。なお、10月に起業相談会の4回目を企画しており、ニュースレターで案内を流している。

3.4 UJI ターン希望者への案内

島スクエアの講義を実施して2年、既に周防大島町周辺の柳井市、岩国市、近郊の広島市からの受講生が何人か来られている。あくまで、受講できるのは、週1回の講義に来られる方である。さらに遠方のUJIターン希望者も対象とするため、人口の多い東京、大阪で呼びかけを行い、大都市から周防大島へUJIターンして起業する人を呼び込むことを試みる。その方法は、「起業家養成基礎コース」の講義内容を東京、大阪で実施するUJIターン起業セミナーと周防大島町で実施する2回の合宿での集中講義で行おうというものである。そこで、まず、お盆に周防大島に帰省したUJIターン希望者への呼びかけとして「UJI お盆セミナー」を行った。お盆の最中ということもあってか、参加者は4名程で少し残念な結果であった。次の取り組みとして、町と協力して東京、大阪で行われる「ふるさと回帰支援フェア」、「中・四国合同説明会」でUJIターン起業セミナーの案内、呼びかけを行った。県庁で情報を得た県や市町村がUJIターン希望者に行っている説明会やその窓口、町で聞いた大島町人会を活用し、パンフレットを置いてもらうなど、PRを行った。

図2の写真は、9月26日に東京で行われた「ふるさと回帰フェア2010」の様子である。スタッフの協力のおかげで約30の方がブースで説明を聞きに来られ、大盛況であった。



図2 ふるさと回帰フェア2010

3.5 その他の取り組み

その他、重要な活動をいくつか紹介する。

「島スクエア」の将来を見据えた取り組みの一つとして、昨年末から提案され準備していた「島

スクエアジュニア」を試験的に始めた。これは、町内の小中学校への子供たちに地元の地域資源や自立・起業の精神を学んでもらい、将来、地元での起業や定住、UJIターンに結び付け、地域の活性化につなげたいというものである。周防大島町の教育委員会をとおして町内の全小中学校から希望を聞き、本校で既に行われている公開講座、出前授業を拡大した形で実施を始めた。

また、UJIターン希望者や周防大島での起業を考えている人に役立つよう、「島スクエア」ホームページに周防大島町の地域資源マップを組み込むことを考えている。

一方、提案書に挙げてある「廃校活用」への取り組みが重要である。町内の企業や団体と調整し、町や県に提案するなどの作業を進めている。

4. おわりに

「島スクエア」は、地域再生のためのシステム作りが目的である。その実現のために重要なことはまず、自立の意識を持ち、自分の能力やアイデアを生かして何らかの社会貢献しようという人の気持ちである。気持ちを持った人のつながりができることで、仕組み作りが始まると感じている。現在、意欲を持った受講生を集め、講義で起業にむすびつく講座を行い、様々の場で交流を持ち、つながりができつつある段階である。スタッフと受講生、修了生とのつながりだけでなく、講師、戦略委員、評価委員、地元の起業家、活動家、町や県の職員、町歩きなどで出会う地域の方々などつながりの幅を広げることで今後のシステム作りにつなげたいと考えている。

謝辞

本活動は、文部科学省科学技術振興調整費、地域再生人材創出拠点の形成の援助によって行っている。記して、感謝の意を表する。

参考文献

- (1) 島スクエアトップページ
<http://www.oshima-k.ac.jp/shima-sq/>
- (2) 科学技術振興調整費/地域再生人材創出拠点の形成ホームページ
<http://www.jst.go.jp/shincho/chiikilink.html>
- (3) 北風裕教ほか: 地域再生を目的とした産学官連携の活動報告, 大島商船高等専門学校紀要, 第42号, pp1-pp10, (2009)
- (4) 大島商船高等専門学校: 山海空コラボレーションみかん島再生クルー(島スクエア) 2008~2009年報, (2010)